

2013年度第5回北陸公法判例研究会開催のご案内

北陸公法判例研究会会員の皆様

寒冷の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、下記の日程で、本年度5回目となります、第5回北陸公法判例研究会を開催致します。万障お繰り合わせのうえ、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

日時：1月11日（土）午後1時30分から

（今回は土曜日の開催とさせていただきますのでご注意ください）

場所：富山県民会館会議室（<http://kenminkaikan.com/zumenko/pdf/syuhen2.pdf>）

（今回は富山市内での開催となりますのでご注意ください）

—報告内容—

【研究報告】 大島義則（弁護士）

タイトル：「修正1条の下におけるリアルスペースの匿名言論」

参考文献：芦部信喜『現代人権論』（有斐閣、1974年）125-143頁

Note, *The Constitutional Right to Anonymity: Free Speech, Disclosure and the Devil*, 70. YALE L.J. 1084, (1961)

Lyrissa Barnett Lidsky & Thomas F. Cotter, *Authorship, Audiences, and Anonymous Speech*, 82 Notre Dame L. Rev. 1537 (2007)

【研究報告】 成原慧（東京大学）

タイトル：憲法とコンテキスト—初期ローレンス・レッシグの憲法理論—

参考文献：LAWRENCE LESSIG, CODE AND OTHER LAWS OF CYBERSPACE (1999)

[ローレンス・レッシグ著（山形浩生・柏木亮二訳）『CODE—インターネットの合法・違法・プライバシー』（翔泳社、2001年）]

Lawrence Lessig, *Fidelity in Translation*, 71 TEX. L. REV. 1165 (1993)

阪口正二郎『立憲主義と民主主義』（日本評論社、2001年）

なお、研究会修了後、新年会の開催を予定しております。すでにご連絡をいただいている方以外で、参加をご希望の方は、1/6（月）までに鶴澤あてにご連絡いただけますようお願い致します。

連絡先：鶴澤剛（金沢大学）076-264-5381 takeuzw@staff.kanazawa-u.ac.jp